

かるまい 議会だより

No. 194

平成25年9月10日

決意胸に、新たな一歩
(軽米町成人式)

- 学校給食費への補助が開始・・・2
- 一般質問（5議員が質問）・・・7
- 新しい議会の体制が決まりました・・・12

学校給食に補助開始

平成25年4月分から対象



晴山小学校での給食風景

小・中・高に一律1食あたり60円

今定例会で、新たな事業として小学校・中学校・高等学校に対する給食費助成事業が提案されました。3月定例会では高校の給食に対し1食90円（副食給食費の1/2）を助成するという事業が提案されましたが、議会において小中学校へも助成するべきでは、という意見があったことから、今回町内の小、中、高全てに1食60円（副食給食費の1/3）を助成することとしました。

平成25年4月分から対象となり、年間の実績に対し支払われます。

第20回（6月）定例会は、6月13日から21日までの9日間の会期で開かれました。一般質問は5議員が登壇し、町政執行をただしました。（7～11ページに掲載）

工事の変更契約4件、条例改正1件などの7議案が提案され、監査委員の同意案は即決で可決、その他の6議案は補正予算等審査特別委員会を設置し、審査の結果、最終本会議で報告されました。採決の結果、一般会計補正予算を一部修正し、そのほかの議案は原案のとおり可決されました。

- 4 可決議案
- 6 討論
- 7 一般質問

- 7 前田泰穂議員
小中学生の給食費を無料にしているかどうか
- 8 山本幸男議員
パークゴルフの普及について
- 9 古舘機智男議員
元気臨時交付金の活用による町民要望の実現と地域経済活性化について
- 10 松浦満雄議員
教育行政について
- 11 茶屋隆議員
旧県北分場跡地の利用について

12 議会の体制が変わりました

14 議会の動き・臨時会

15 議会活動レポート

16 未来に残したい

軽米の風景

表紙の写真



8月15日に成人式が開催され、対象者126人のうち105人が出席し、大人の仲間入りを果たしました。

軽米小建設工事の変更契約 など6件を可決

条例の改正

国の省令の改正に伴い、過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例を一部改正しました。

変更契約

軽米小学校校舎棟建築工事の契約額に1億1224万4500円を追加し、総契約額を7億7428万6800円としました。

軽米小学校校舎棟電気設備工事の契約額に246万2250円を追加し、契約総額を1億1827万7250円としました。

軽米小学校校舎棟機械設備工事の契約額に246万2250円を追加し、総額を69億9716万6千円に補正しました。主な補正内容は下表のとおりです。

補正予算

平成25年度一般会計補正予算（第2号）

◇主な補正内容	
○全国瞬時警報システム整備工事・デジタル防災無線整備工事	1億1850万円
○財政調整基金元本積立	1億9600万円
○観音林歩道整備工事	1197万円
○小中学校給食費助成金・閉校事業補助金	1056万円 など

人事案件

監査委員に瀧澤英敬さん（上谷地渡）を選任することに同意しました。

請願陳情

TPP交渉参加の撤回の請願（軽米建友

継続審査

入札制度の改善について

回に関する要請（岩手県農業協同組合ほか）

議員発議

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願（岩手県教職員組合二戸支部）

少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願（岩手県教職員組合二戸支部）



建設が進む軽米小学校（左奥が新たな校舎）

修正動議

笹渡小中学校閉校記念事業の補助金を減額

閉校記念事業補助金（町の提出案）	
笹渡小中学校	200万円
小軽米中学校	100万円
晴山中学校	100万円
（議会修正案）	
笹渡小中学校	100万円
小軽米中学校	100万円
晴山中学校	100万円

特別委員会において、平成25年度軽米町一般会計補正予算（第2号）に対する修正案が委員9名の連名で提出されました。内容としては、教育費のうち笹渡小中学校の閉校記念事業補助金について町が200万円を予算計上していたものに対し、これまでの閉校記念事業には一律100万円とされていたことから、小中併設校であっても同様に100万円とするよう減額を求めたものです。

委員長報告

補正予算を一部修正

前田泰穂 特別委員長

本委員会に付託された案件は、過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正、軽米小学校建築工事の変更契約4件、一般会計補正予算の6件であった。

主な審議内容としては、デジタル防災行政無線整備は停電後1日程度しか機能しないが、もつと長く機能するようにするべきだ、町税徴収職員にはプライバシー保護について指導するべきである、軽米テレビの視聴率調査をおこなってはどうか、職員の給与の削減を町民に知らせたほうがよいなどの意見があった。

また教育費には質疑が集中し、閉校記念事業補助金、小中学生に対する給食費の補助については多くの質疑が活発に行われた。

審議中に山本委員他8名から議案第6号、一般会計補正予算に対する修正動議が出された。その内容は、歳入の基金繰入金100万円減、歳出は教育総務費を同じく100万円減とするというものだった。

採決については、最初に修正案について起立採決した結果、起立9名で可決した。次に議案第6号の修正部分を除く議案について採決した結果、起立全員で可決した。最後にその他の議案について採決した結果、起立全員で可決した。

反対 細谷地多門 議員

今回の修正案が特別にために寄付金等が委員会でも賛成多数により可決されたことは誠に残念であり納得いくものではない。

審議中、笹渡の閉校事業会計の中で寄付金ゼロであるとの指摘もあったが、この地域は農家割合が高く企業や会社等もなく、学校にも共有財産などがな

賛成 山本幸男 議員

これまで町は事業内容にかかわらず一律100万円を助成してきた。事業の実行にあたってかたや100万円、かたや200万円という形は公平感に欠けると思われる。

小、中学校の2校分

だという意見があったが、同じ日に同じ場所で閉校式典が挙行されると想定する。200万円というのはいかがなものか。

当局は200万円補助の根拠について、2校だからということではなく、地域住民の負担が高いからという説明だった。その後、説明資料の変更もなく、丁寧な説明のないまま議論が終わったと感じている。町の説明に説得力がなかったと思っている。

討論

賛成 茶屋隆 議員

当局の説明は、1世帯当たりの協賛金が5千円と多いことから笹渡小中学校への補助金を要望通り200万円としたいということだった。しかし、過去の閉校事業の協賛金を見ると米田小が

学校の2校という考え方で合計200万円の補助ということだったが、閉校式典を合同で開催するというのを考えればいかなるものか。多くの町民が納得するとは思えない。

反対 松浦満雄 議員

これまで1校に対して100万円の補助だったが、町が小中学校をそれぞれ単独の学校として2校分の補助でよいとの結論を出している。公平性の点を指摘されているが、条例も規則もないので、地域の事情を考慮することは許容範囲である

と思う。今回の学校統合を成功裏に終わらせ、町の学校教育の未来に禍根を残すべきではない。ましてや子どもたちにそのような思いをさせていいのか。教育は町の子供たちのものであり、私たち大人の偏見によって誤った判断はできない。

給食補助 問 小中無料化、幼稚園等にも補助を 答 子育て支援策全体の中で検討

質問 町長は3月定例会で軽米高校への給食費助成を提案したが、議会での議論を受けて小中学校の給食費についても助成を検討すると言っていた。今定例会で予算計上されているが、子育て支援の観点から、小中学校の給食費は全額助成し無料にしてはどうか。

教育次長 今定例会で新たな子育て支援策として、小中学校の給食費に対し一律1食60円の補助を提案している。

再質問 3月に高校給食の助成が決定し、今定例会で小中学校にも助成が提案されているが、幼稚園、保育園、児童館には助成がされていない。子育て施策としては不十分である。小中学校と同様の助成額で必要な予算額を試算したところ、260万円程度と少額であった。金額的にも可能と思われるので、助成をおこなってはどうか。

町長 これまで第2子以降の保育料無料化や小中学生の医療費無料化、幼稚園の預かり保育や副食給食といった様々な子育て支援策をおこなってきた。ご提言いただいた小中学校への給食費無料化や保育園等への助成については子育て支援策全体の中で議論し、検討したい。



軽米幼稚園の給食風景

前田泰穂 議員

その他の質問

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種に助成を
答 平成23年度に赤十字が無料実施、5年以内では副反応のおそれがあるため見送る

問 犬、猫の糞尿被害多い。条例で規制しては
答 条例での規制は考えていない。マナー向上を呼びかけていく



質問 パークゴルフ場を活用し、芝桜による観光と併せて町の活性化を図ってはどうか。
 例え「芝桜カップ大会」や「芝の上を歩け歩け運動」などを開催し、その際に特産品の展示や販売をしてはどうか。

ルフ場の法面に芝桜を植栽している。今後は、芝桜の見ごろに合わせてパークゴルフ大会や総合スポーツ大会の開催も検討したい。

特産品の展示や販売については会場の規模などを考慮し検討する。また、町特産品の大会の商品などへの使用には積極的に働きかけていく。

町長 当町のパークゴルフ人口は非常に多く、協会の会員数は124人となっている。町総合体育大会ではほとんどの地区からの参加があり、町全体に浸透している。また、平成18年からパークゴルフ券を発行するなどの振

問 芝桜の時期と合わせ活性化を 答 総合大会等も検討していく

パークゴルフ

興策をおこなってはどうか。
 期間内に様々なスポーツ大会が開催されている。それらを含めた一つの大きなイベントにできないか検討している。

町長 芝桜が咲いている。それらを含めた一つの大きなイベントにできないか検討している。



パークゴルフ大会

その他の質問

問 プラスチックごみ分別の目的と成果は
 答 ごみ減量化とリサイクル率向上が目的、現在は調査後に焼却処分している
 問 軽米高校が今年度から1学級減、町の考えは
 答 町外からの受け入れ環境をととのえる
 問 朝食を食べない小中学生への対策は
 答 家庭教育学級などを通じて意識啓発を図る

臨時交付金 問 町中心部の街路灯整備等に活用を 答 他の行政区との公平性考慮し検討

質問 ①元臨時交付金（地域経済活性化雇用創出臨時交付金）の当町分の交付限度額は。
 ②交付金活用によって一般財源は大幅に浮くと思うが、その額は。
 ③交付金を活用することでハード事業以外の施策が充実されるとい

④中心商店街の街路灯のLED化や住宅リフォーム制度の拡充、青少年ホームの改築に交付金を活用しては。

総務課長 ①交付限度額は2億3863万8千円となっている。

②今年度と来年度の2か年で25%の5970万円、残り

は以後25年間で毎年800万円の一般財源が節減可能と見込まれる。

③可能ではあるが、節減できる額や行政サービス需要、国からの情報にも留意して検討する必要がある。

④街路灯のLED化については、行政区活動交付金の活用などにより17地域で切り替えが取り組まれている。各行政区との公平性も考慮し、中心商店街の切り替えを検討したい。

住宅リフォーム拡充や青少年ホーム改築についても検討したい。



町中心部の街路灯

再質問 他の自治体では昨年度の補正や今年度の当初予算で交付金を予算化している。町

総務課長 街路灯については以前に国の交付

の対応は鈍い。交付金の有効活用を。中心商店街の街路灯は商店会が管理しており、行政区への交付金では対応できないのでは。

町長 交付金の内容は多岐にわたる。有効利用に努めたい。ご提言の内容に関しては検討したい。



その他の質問

問 TPP参加による町への影響と対策は
 答 安い農産物の流入により農業に打撃のおそれ、国・県の状況を見て対応を検討

松浦満雄 議員



質問 廃校となった空き校舎活用に基本的な考えは。
 具体的な使途はあるか。また、管理体制は万全か。

教育長 来年度の小中学校統合により、晴山中、小軽米中、笹渡小中が新たに空き校舎となる。3校とも耐震補強がされており、今後の活用が期待される。地域住民のご意見を伺いながら、町の考え方をまとめていく。

教育施設以外の用途としては、企業誘致関連の施設としての活用

教育次長 ①転用施設

新たに廃校となる3校の活用方法は

耐震補強済み、地域住民の意見聞き検討

廃校活用

に対する補助はあるが、事業により補助率が異なる。どのように活用するかを決めた上で補助事業の検討となる。

再質問 ①改修の補助率について、わかる範囲で説明願いたい。

総務課長 ①一例として、スポーツ施設としての活用には3分の2、農山村活性化には2分の1、過疎地域自



小軽米中学校

立活性化には2分の1の補助となっている。基本的には2分の1補助と考えている。

その他の質問

問 今後の公共施設整備について町の考えは
 答 消防署、中央公民館、図書館、老人福祉センターなど町民の方々の意見を聞きながら取り組む

福祉施策

問 県北分場跡地の利用計画は
答 病院と隣接、福祉ゾーンとして活用

質問 旧県北分場跡地は、福祉施設ゾーンとして活用するために県から取得している。過去に質問した際には福祉施設ゾーンとしての利用とともに高齢者向けの町営住宅なども検討したいと答弁している。また、いちい荘の移転も検討対象とする

とのことだったが、現在の計画は。

町長 新軽米町総合発展計画にも盛り込んであるが、高齢化社会の進展に伴い、老朽化している老人福祉センターやいちい荘の移転とともに、今後需要が増えると思込まれるデ

イサービスなどの事業展開が可能な福祉、健康維持増進、コミュニティなどの複合型施設を検討している。

町の計画がしっかり立てられていれば、社会福祉協議会でもそれに沿った計画を立てやすいと思うので、移転できるような実効性のある計画の策定を。



軽米病院

町長 現在進めている教育施設の整備計画にめどがつき次第、計画を進めたい。

茶屋隆 議員



再質問 いちい荘は社会福祉協議会が管理するようになって3年が経過している。順調な経営だが、介護報酬の見直しによる減額で経営が厳しいと聞いている。施設も老朽化し改修が必要と思われる。

その他の質問

問 町中心部活性化のため施設整備の考えはないか
 答 公民館や図書館老朽化、複合型の施設も含めて検討したい
 問 (株)軽米町産業開発の経営状況は
 答 311万円の損失、経営検討会などで指導

新しい議会の体制が決まりました

5月10日の第19回臨時会で、常任委員会などを改選しました。

総務教育民生常任委員会



委員長	中村光夫	副委員長	前田泰穂
委員	松浦求雄	委員	古館機智男
委員	松浦満雄	委員	大村税
委員	茶屋隆		

産業建設常任委員会



委員長	本田秀一	副委員長	泉山優
委員	館坂久人	委員	山本幸男
委員	川原木賢一	委員	細谷地多門
委員	上岩紀男		

議会運営委員会



委員長	古館機智男
副委員長	大村税
委員	泉山優
委員	細谷地多門
委員	上岩紀男
委員	前田泰穂

町政調査会役員



会長	川原本賢一
副会長	山本幸男
幹事	古館久人
幹事	泉山機智男
幹事	松浦満雄
幹事	中村光夫

議会報編集委員会



委員長	松浦満雄
副委員長	茶屋隆
委員	館坂久人
委員	山本幸男
委員	本田秀一
委員	中村光夫

臨時会で 決まったこと

ひとつの世帯の中で後期高齢者に移行する人と国保に残る人がでた場合、二重に保険料が発生するため、国保の平等割（世帯割）を2分の1にする措置が5年を期限としてとられていました。

この3月で期限が来たため、この制度を恒久化し、今後5年間は平等割の2分の1を、続く3年間は4分の1を軽減するものです。

損害賠償

3月2日に町が管理する倉庫の屋根が強風によって破損し、隣接した施設や自動車に損害を与えたため、損害賠償の額を決定しました。賠償額は3件で233万1702円です。この倉庫は取り壊しが決定しました。

主な補正内容

円子地区倉庫解体工事	310万円
円子地区倉庫事故による損害賠償金	233万円
ごみ分別収集にかかる臨時作業員人件費	401万円
新規就農支援事業委託料	630万円
	など

補正予算

平成25年度一般会計補正予算（第1号）
1868万1千円を追加し、総額を66億9968万1千円としました。主な補正内容は左表のとおりです。



産廃処分場要望書提出（4月26日）



軽米保育園入園式（4月3日）

議会の動き

4月

- 1日 辞令交付式
- 1日 軽米町小中学校新任教職員着任式
- 3日 軽米保育園入園式
- 3日 町村議会・議長会挨拶（盛岡市）
- 4日 小軽米保育園入園式
- 4日 晴山中学校入学式
- 4日 議会報編集委員会
- 5日 小軽米小・中学校入学式
- 5日 軽米小・中学校入学式
- 6日 軽米高校入学式
- 6日 大工組合通常総会
- 9日 軽米幼稚園入園式
- 9日 三者合同歓迎会
- 9日 議員全員協議会
- 12日 小軽米地区合同慰霊祭
- 13日 軽米町馬匹市場共進会
- 18日 議会運営委員会
- 18日 第18回町議会臨時会
- 18日 全員協議会
- 23日 北部地区町村議会議長会通常総会（秋田県）
- 24日 民生児童委員協議会総会
- 25日 議会運営委員会
- 26日 岩手県情報文化研究会（盛岡市）
- 26日 産廃処分場要望書提出立会い（盛岡市）
- 26日 岩手北部広域環境組合全員協議会（二戸市）

5月

- 3日 森と水チューリップフェスティバルオープニングセレモニー
- 8日 手をつなぐ育成会総会

議会活動レポート 病院草刈りボランティア



7月6日、議会として軽米病院を応援するため、病院周辺の環境整備ボランティアをおこないました。

病院周辺の白樺の枝の剪定や、草刈りをシルバー人材センターから30人の協力をいただき実施しました。

議長交際費を公開します

（4月～6月まで）
議長交際費は、議長が議会の対外的な活動をするために要する経費です。
各団体の総会や式典の会費などが主なものです。
詳しい内容は町のホームページに記載しています。

- お祝い（会費含む）
12件 44,000円
- 弔事3件 76,000円
- その他1件 3,000円



折爪岳植樹祭（6月2日）



チューリップフェスティバル（5月3日）

6月

- 1日 軽米町長杯学童野球大会
- 2日 折爪岳植樹祭（二戸市）
- 5日 産業開発株主総会
- 5日 郷土芸能保存会総会
- 6日 議会運営委員会
- 12日 全員協議会
- 13日 第20回町議会定例会
- 14日 産廃処分場建設にかかる県への要望（盛岡市）
- 16日 米田地区ゲートボール大会
- 24日 軽米町建友会総会
- 27日 二戸広域行政事務組合臨時会（二戸市）
- 28日 北部地区町村議会議長会議員研修会（野田村）
- 8日 PTA連合会定期総会
- 9日 軽米牛肥育生産協議会総会
- 10日 議会運営委員会
- 10日 第19回町議会臨時会
- 13日 キャリア教育推進協議会
- 14日 寿大学開講式
- 14日 交通安全対策協議会総会
- 14日 雪谷川を守る会総会
- 17日 二戸建設業協会総会（二戸市）
- 17日 老人クラブ連合会総会
- 18日 軽米中学校体育祭・小軽米中学校体育祭
- 21日 町村議会議員研修会（盛岡市）
- 24日 社会福祉協議会評議員会
- 24日 商工会通常総会
- 25日 軽米小学校運動会・小軽米小学校運動会
- 28日 折爪岳振興協議会総会（二戸市）
- 28日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 30日 軽米まちづくり塾入講式
- 31日 カシオペア連邦協議会役員会（二戸市）
- 31日 シルバー人材センター総会

未来に残したい軽米の風景⑤



民田山の石割ザクラ (小軽米23-257-17)

花崗岩の割れ目から伸びる、樹齢60年(推定)、
高さ約13メートルのヤマザクラです。
町の天然記念物として平成8年に指定されています。

※このコーナーでは皆さんの「未来に残したい軽米の風景」を募集しています※
写真か画像データと、住所、氏名、電話番号、写真の場所、お薦めの理由(60字程度)
を議会事務局までお送りください。

議員の任期4年間のうち2年が過ぎ、議会の委員会もそれぞれ構成が変わりました。議会報編集委員会のメンバーも入れ替えになりましたが、私は留任となり、この度は編集委員長の重責を担わせていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

で、ぜひご来場ください。今後とも町民に親しまれ、読みやすい議会報づくりに取り組み、町民の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。
今回の発行が遅れたことをお詫び申し上げます。まして編集後記いたします。

さて、これまで議会の編集方針として、より早く、できる限り読みやすく、町民の方から愛される議会報づくりを心掛けてまいりましたが、読者の皆様方はどのような感想をお持ちでしょうか？ご意見をお寄せいただければ幸いです。

また、議会の傍聴もお待ちしております。

議会報編集委員長

松浦 満雄



編集後記